



平成24年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年12月15日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 くろがねや

コード番号 9855 URL <http://www.kuroganeya.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 堀込 丹

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役(管理担当)

(氏名) 川崎 謹五

TEL 055-241-2472

四半期報告書提出予定日 平成23年12月28日

配当支払開始予定日

平成24年1月23日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第2四半期の業績(平成23年5月16日～平成23年11月15日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第2四半期	8,391	△0.2	122	19.5	139	41.2	72	38.7
23年5月期第2四半期	8,406	3.1	102	1.4	98	△2.0	51	31.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第2四半期	6.76	—
23年5月期第2四半期	4.87	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
24年5月期第2四半期	15,898		8,421		53.0	789.35
23年5月期	17,001		8,415		49.5	788.80

(参考) 自己資本 24年5月期第2四半期 8,421百万円 23年5月期 8,415百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	6.00	—	6.00	12.00	
24年5月期	—	6.00	—	6.00	12.00	
24年5月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00	

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年5月期の業績予想(平成23年5月16日～平成24年5月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,009	3.8	617	45.0	620	42.5	341	69.9	31.97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年5月期2Q	11,581,205 株	23年5月期	11,581,205 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年5月期2Q	912,686 株	23年5月期	912,607 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年5月期2Q	10,668,594 株	23年5月期2Q	10,669,035 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
5. 補足情報	8
売上の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災以降、非常に厳しい状況が続いております。さらには、福島原子力発電所の原発事故や電力供給の制約、EU諸国の債務超過危機に端を発した円高等によって、先行きに対する不透明感はより一層強いものとなり、消費マインドは、雇用・所得環境の悪化や電力不足等によって、貯蓄志向が強まる状況となっております。

このような状況の中、当社は、お客様のあらゆる生活に対応することによって、新たな需要の掘起こしと販路の拡大に努めてまいりました。販売面に関しては、震災対策として、電池・懐中電灯・ラジオ等、節電対策として、LED電球・扇風機・すだれ・よしず等が大きく売上を伸ばしました。一方、11月においても、暖かい日が続いたために、灯油等の燃料の販売が、前年を大きく下回りました。

また、9月には、スーパーデポ一宮店及びスーパーデポ南アルプス店において、「ドラッグコーナー」を、お客様の生活をサポートできるように新設しました。今後、首都圏の店舗においても、設置を検討してまいります。

リフォーム事業の展開につきましては、節電対策として、太陽光発電システムに積極的に取り組んでまいりました。6月には、各有名メーカーの展示による「太陽光フェア」を実施し、その後は「太陽光博覧会」や施工業者の講師による市民講座等を実施しております。

これらの結果、売上高は83億91百万円（前年同四半期比0.2%減）となり、営業利益は1億22百万円（前年同四半期比19.5%増）、経常利益は1億39百万円（前年同四半期比41.2%増）、四半期純利益は72百万円（前年同四半期比38.7%増）となりました。

なお、当第2四半期累計期間中には、開店、閉店とも行いませんでしたので、店舗数は山梨県に13店舗、神奈川県に6店舗及び東京都に3店舗の合計22店舗であり、また、売場面積は84,082㎡であります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は、44億33百万円となり、前事業年度末に比べ7億87百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が4億28百万円及び売掛金が1億38百万円減少したことによるものであります。固定資産は、114億65百万円となり、前事業年度末に比べ3億16百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が2億36百万円減少したことによるものであります。

これらの結果、総資産は158億98百万円となり、前事業年度末に比べ11億3百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は、50億77百万円となり、前事業年度末に比べ8億10百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が2億68百万円、短期借入金が1億60百万円及び未払法人税等が98百万円減少したことによるものであります。固定負債は、23億99百万円となり、前事業年度末に比べ2億98百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が2億48百万円減少したことによるものであります。

これらの結果、負債合計は74億77百万円となり、前事業年度末に比べ11億8百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は84億21百万円となり、前事業年度末に比べ5百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が8百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ4億40百万円減少し、5億9百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は2億31百万円(前年同期は80百万円の支出)となりました。これは主に、税引前四半期純利益1億37百万円、減価償却費2億67百万円、売上債権の減少額1億38百万円等の収入に対し、仕入債務の減少額2億68百万円、法人税等の支払額1億25百万円等の支出があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は1億66百万円(前年同期は94百万円の支出)となりました。これは主に、敷金及び保証金の回収による収入50百万円等の収入に対し、有形固定資産の取得による支出2億19百万円等の支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は5億5百万円(前年同期は64百万円の収入)となりました。これは主に、短期借入れによる収入13億50百万円の収入に対し、短期借入金の返済による支出15億円、長期借入金の返済による支出2億58百万円等の支出があったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、当第2四半期の業績が想定した範囲内で推移しているため、見直しを変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年5月15日)	当第2四半期会計期間 (平成23年11月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	950,668	522,105
売掛金	228,517	90,381
商品	3,671,153	3,579,727
貯蔵品	3,914	3,980
その他	366,367	237,314
貸倒引当金	△211	△121
流動資産合計	5,220,410	4,433,387
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,912,689	4,763,436
土地	3,881,240	3,879,665
その他(純額)	1,095,574	1,010,092
有形固定資産合計	9,889,504	9,653,194
無形固定資産	262,735	263,175
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,376,862	1,328,172
その他	261,517	229,962
貸倒引当金	△9,292	△9,292
投資その他の資産合計	1,629,087	1,548,842
固定資産合計	11,781,327	11,465,212
資産合計	17,001,737	15,898,600
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,143,454	2,874,837
短期借入金	1,766,180	1,606,180
未払法人税等	132,954	34,407
役員賞与引当金	20,536	9,804
その他	825,338	552,543
流動負債合計	5,888,464	5,077,773
固定負債		
長期借入金	1,901,604	1,653,514
その他	796,186	746,069
固定負債合計	2,697,790	2,399,583
負債合計	8,586,254	7,477,357
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,411,649	2,411,649
資本剰余金	2,466,074	2,466,071
利益剰余金	3,862,623	3,870,730
自己株式	△329,957	△329,978
株主資本合計	8,410,389	8,418,473
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,092	2,769
評価・換算差額等合計	5,092	2,769
純資産合計	8,415,482	8,421,243
負債純資産合計	17,001,737	15,898,600

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年5月16日 至平成22年11月15日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年5月16日 至平成23年11月15日)
売上高	8,406,244	8,391,504
売上原価	6,028,260	6,073,521
売上総利益	2,377,984	2,317,982
販売費及び一般管理費	2,275,426	2,195,442
営業利益	102,557	122,540
営業外収益		
受取利息	587	539
受取配当金	1,509	1,816
受取事務手数料	17,692	27,473
その他	4,261	7,643
営業外収益合計	24,050	37,472
営業外費用		
支払利息	24,775	20,185
その他	3,230	644
営業外費用合計	28,005	20,829
経常利益	98,602	139,183
特別利益		
退職給付制度終了益	29,141	—
特別利益合計	29,141	—
特別損失		
固定資産売却損	—	1,403
固定資産除却損	14,993	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9,158	—
特別損失合計	24,151	1,403
税引前四半期純利益	103,591	137,780
法人税、住民税及び事業税	19,542	23,684
法人税等調整額	32,065	41,976
法人税等合計	51,608	65,660
四半期純利益	51,983	72,119

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年5月16日 至 平成22年11月15日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年5月16日 至 平成23年11月15日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	103,591	137,780
減価償却費	270,625	267,847
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9,158	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△41	△90
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△46,075	—
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,992	△10,731
受取利息及び受取配当金	△2,096	△2,355
支払利息	24,775	20,185
固定資産売却損益 (△は益)	—	1,403
固定資産除却損	14,993	—
売上債権の増減額 (△は増加)	106,091	138,136
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△141,524	91,360
その他の資産の増減額 (△は増加)	47,162	89,044
仕入債務の増減額 (△は減少)	△302,400	△268,616
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△49,883	△11,834
その他	△7,110	△77,117
小計	16,275	375,010
利息及び配当金の受取額	2,096	2,355
利息の支払額	△24,690	△20,242
法人税等の支払額	△74,288	△125,378
営業活動によるキャッシュ・フロー	△80,607	231,745
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,287	—
有価証券の取得による支出	△300,000	—
有価証券の売却による収入	300,000	—
有形固定資産の取得による支出	△167,390	△219,107
投資有価証券の取得による支出	△20,500	—
敷金及び保証金の差入による支出	△83,450	△2,374
敷金及び保証金の回収による収入	179,163	50,285
その他	10,169	4,294
投資活動によるキャッシュ・フロー	△94,294	△166,901
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,100,000	1,350,000
短期借入金の返済による支出	△1,700,000	△1,500,000
長期借入金の返済による支出	△244,404	△258,090
リース債務の返済による支出	△26,523	△33,583
自己株式の増減額 (△は増加)	△144	△23
配当金の支払額	△64,085	△63,997
財務活動によるキャッシュ・フロー	64,842	△505,694
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△110,060	△440,850
現金及び現金同等物の期首残高	712,282	950,668
現金及び現金同等物の四半期末残高	602,221	509,817

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

5. 補足情報

売上の状況

(1) 部門別売上高

(単位：千円 千円未満切捨て)

	当第2四半期累計期間 (自平成23年5月16日 至平成23年11月15日)		前第2四半期累計期間 (自平成22年5月16日 至平成22年11月15日)		対前年 同期比	(参考) 平成23年5月期	
	売上高	構成比	売上高	構成比		売上高	構成比
		%		%	%		%
ダイニング用品	893,513	10.6	978,952	11.6	91.3	2,131,078	11.6
ホームファニッシング用品	398,462	4.7	398,379	4.7	100.0	789,756	4.3
デイリー用品	1,448,397	17.3	1,509,225	18.0	96.0	3,103,160	16.9
シーゾナル用品	601,681	7.2	570,938	6.8	105.4	1,894,869	10.4
園芸・ペット用品	1,951,118	23.3	1,975,658	23.5	98.8	3,874,821	21.2
カルチャー用品	371,984	4.4	393,095	4.7	94.6	866,151	4.7
D I Y用品	1,578,689	18.8	1,465,009	17.4	107.8	3,110,550	17.0
その他用品	914,935	10.9	880,396	10.5	103.9	2,086,997	11.4
商品売上高計	8,158,782	97.2	8,171,656	97.2	99.8	17,857,386	97.5
不動産賃貸収入	232,721	2.8	234,588	2.8	99.2	460,259	2.5
売上高合計	8,391,504	100.0	8,406,244	100.0	99.8	18,317,646	100.0

(注) 1. 部門別の各構成内容は、次のとおりであります。

- | | |
|------------------|------------------|
| (1) ダイニング用品 | (台所用品・調理小物) |
| (2) ホームファニッシング用品 | (家具・インテリア用品) |
| (3) デイリー用品 | (家庭用品・日用雑貨) |
| (4) シーズナル用品 | (季節品) |
| (5) 園芸・ペット用品 | (園芸用品・ペット用品等) |
| (6) カルチャー用品 | (文具用品・おもちゃ等) |
| (7) D I Y用品 | (日曜大工用品・リフォーム関係) |
| (8) その他用品 | (はきもの・カー用品・その他) |

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 当第1四半期累計期間から部門別区分の方法を一部変更したため、前年同四半期比較にあたっては、前第2四半期累計期間分を変更後の区分に組替えて行っております。

(2) 地区別商品売上高

(単位：千円 千円未満切捨て)

地 区	当第2四半期累計期間 (自平成23年5月16日 至平成23年11月15日)		前第2四半期累計期間 (自平成22年5月16日 至平成22年11月15日)		対前年 同期比	(参考) 平成23年5月期	
	売上高	構成比	売上高	構成比		売上高	構成比
		%		%	%		%
山梨県	4,168,621	51.1	4,194,534	51.3	99.4	9,059,501	50.7
神奈川県	2,263,463	27.7	2,376,080	29.1	95.3	5,261,511	29.5
東京都	1,726,697	21.2	1,601,041	19.6	107.8	3,536,373	19.8
商品売上高合計	8,158,782	100.0	8,171,656	100.0	99.8	17,857,386	100.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。